

令和 2 年版

市 政 概 要

松 本 市 議 会

オ 開 館 平成3年1月21日
 カ 観 覧 料 個人 高校生以上 200 円 小中学生 100 円
 キ 企画展示、ワークショップ、コンサート

展 覧 会 名	会 期
コレクション展「やっぱり山が好き」	平成31年4月27日(土) ～令和元年7月21日(日)
ワークショップ「七夕人形作り講座」	7月6日(土)
企画展「望月信幸 スクランプル版画展」	8月1日(木)～8月18日(日)
ワークショップ「望月信幸 篆刻ワークショップ」	8月3日(土)
コレクション展「信州梓川賞展梓川賞受賞作品展」 ーふるさとの風景18の色ー	9月7日(土)～10月14日(月・祝)
梓川アカデミア館企画「ウィンターコンサート」	令和2年1月18日(土)
ワークショップ「古着を使った布ぞうり作り」	令和2年1月19日(日)
第19回信州梓川賞展	令和2年2月8日(土)～3月3日(火)
信州梓川賞展関連ワークショップ「いろとかたち」	令和2年2月8日(土)

ク 利用状況

令和元年度 観覧者数 1,506 人
 施設利用者数 26,644 人 (アクセスギャラリー含む)

27 博物館

(1) 経過

明治39年 9月21日 松本尋常高等小学校内に明治三十七、八年戦役記念館開館。のち松本紀(記)記念館と改称。開館時の資料は軍事関係1,308点、風俗関係315点、博物標本2,102点、その他1,699点、図書19,046冊

明治41年 1月28日 東筑摩郡教育品研究所廃止により所蔵資料が移管

昭和6年 6月1日 松本市の管理に移管

昭和12年 9月 松本城二の丸に移転。ロックガーデンを設置し、山岳資料を充実

昭和13年 9月17日 松本記念館として有料開館、観覧料10銭(松本城10銭、共通15銭)

昭和20年 5月22日 この日をもって閉館し、収蔵資料の疎開開始

昭和22年 1月28日 松本史談会「博物館設置二関スル意見書」を市議会に提出。4月1日に松本記念館から松本博物館と改称

昭和23年 2月11日 地蔵清水に移転し松本市立博物館と改称。山岳・民俗・考古・歴史・教育の5部門を常設展示

4月23日 松本市立博物館管理条例を制定、松本城の管理を職務に編入

昭和27年 7月21日 県下初の博物館法による登録博物館に登録。11月再び二の丸に移転

昭和29年 4月1日 中山村との合併にともない中山考古館(昭和6年開館)を分館に位置付け

昭和30年	3月 29日	分館として松本城記念館を設置
	4月 22日	七夕人形コレクション45点が重要民俗資料（昭和50年文化財保護法の改正により「重要有形民俗文化財」と改称。以下同じ）に指定
	11月 15日	松本城を分館とし、城郭係を新設
昭和33年	4月 1日	分館中山考古館の建物を新築
	12月 24日	松本城管理事務所設置（城郭係廃止）、松本城管理事務が分離
昭和34年	5月 6日	農耕用具コレクション79点、民間信仰資料コレクション293点が重要民俗資料に指定
	12月 18日	孔雀文磬（仏具）1面が国の重要文化財に指定
昭和36年	3月 23日	市立開智小学校本館が重要文化財に指定
	3月 31日	重要民俗資料収蔵庫を新築
昭和37年	11月 3日	松本民芸館開館
昭和41年	4月 1日	重要文化財旧開智学校校舎が附属施設（現分館、以下同じ）に位置付け 財団法人日本民俗資料館が設立。8月に博物館法による登録。以後、松本市 立博物館と日本民俗資料館の両名併記になる
	4月 20日	日本民俗資料館開館
昭和49年	11月 1日	本田コレクション341点（古時計及び関係資料）を受贈、重要民俗資料収蔵 庫を時計博物館として開館
昭和50年	4月 30日	アルプス山岳館開館
昭和55年	6月 1日	時計博物館廃止。コレクションを日本民俗資料館2階に移管
昭和56年	7月	旧制松本高等学校記念館開館
昭和56年	10月 1日	松本城との共通観覧券を発行
昭和58年	10月 1日	財団法人松本市教育文化振興財団設立にともない財団法人日本民俗資料館 が解散され、新財団へ移行
昭和59年	8月 1日	館ニュース「あなたと博物館」創刊
昭和61年	3月 31日	分館の中山考古館を廃止
	4月 1日	松本市立考古博物館を創設、附属施設に位置付け（8月2日開館）
平成元年	8月 4日	松本市はかり資料館開館
平成 3年	12月 1日	旧司祭館開館、市立博物館の附属施設に位置付け
平成 4年	4月 1日	松本民芸館、松本市はかり資料館を市立博物館の附属施設に位置付け
平成 5年	4月 1日	窪田空穂記念館を創設し、市立博物館の附属施設に位置付け（6月5日開館）
	7月 10日	旧制高等学校記念館開館
平成 6年	3月 31日	松本市旧司祭館が市の重要文化財に指定
平成 8年	12月 10日	馬場家住宅、国の重要文化財に指定
平成 9年	4月 8日	重要文化財馬場家住宅を博物館として開館、附属施設に位置付け
平成11年	9月 21日	この日を「松本市博物館の日」に制定し、以後関連行事開催
平成12年	6月	松本まると博物館構想策定
平成14年	4月 1日	松本市歴史の里開館、附属施設に位置付け
	9月 1日	松本市時計博物館開館、附属施設に位置付け

	19日	胡桃沢コレクション受贈（平成14年2月）により「子規忌」開催。以後毎年開催
平成15年	4月 25日	松本民芸館がリニューアルオープン
平成16年	4月 1日	松本まるごと博物館友の会が発足
	17日	松本市立考古博物館がリニューアルオープン
平成17年	3月 28日	旧司祭館が県宝に指定
	4月 1日	日本民俗資料館が市に寄贈され松本市立博物館に名称統一 合併により四賀化石館・安曇資料館・奈川歴史民俗資料館・奈川自然学習館・梓川アカデミア館が附属施設に位置付け
平成18年	4月 1日	旧制高等学校記念館を附属施設に位置付け
	9月 21日	市立博物館が開館100周年
平成19年	4月 28日	松本市歴史の里がリニューアルオープン
	5月 3日	山と自然博物館開館、附属施設に位置付け
平成20年	3月	松本市基幹博物館基本構想策定
	4月 1日	奈川歴史民俗資料館を博物館施設としての用途廃止 梓川アカデミア館を美術館に所管替え
平成21年	3月	松本市基幹博物館基本計画策定
	4月 1日	奈川自然学習館を博物館施設としての用途廃止
	5月 2日	松本市重要文化財高橋家住宅を博物館施設として開館、附属施設に位置付け
	12月 22日	工女宿宝来屋、市の重要文化財に指定
平成22年	4月 29日	松本市はかり資料館の改修工事終了、リニューアルオープン
平成23年	2月 11日	松本市はかり資料館内に、旧三松屋蔵座敷を移築し、オープン
平成24年	4月 1日	松本市立博物館条例改正、附属施設を分館に位置づけ
	10月 26日	松本市博物館協議会設置
平成25年	3月 20日	国立大学法人名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センターとの文化・学術活動と地域貢献に関する覚書締結
	4月 27日	旧制高等学校記念館がリニューアルオープン
平成28年	6月 13日	松本城大手門駐車場敷地を基幹博物館の建設予定地とすることを決定
平成29年	3月	松本市基幹博物館施設構想及び建設計画策定
	3月 19日	国立大学法人名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センターの廃止に伴い、文化・学術活動と地域貢献に関する覚書の締結解消
	11月 28日	旧松本区裁判所庁舎、国の重要文化財に指定
平成30年	2月	松本市基幹博物館の建設予定地拡張を決定
平成31年	3月	重要文化財旧開智学校校舎の耐震診断が完了
	4月	耐震工事が終了した山辺学校歴史民俗資料館（教育文化センター附属機関）を博物館へ所管替えし、旧山辺学校校舎に名称変更して開館、分館に位置付け
	4月	松本市基幹博物館の拡張用地を取得
	4月	松本市基幹博物館建設予定地の埋蔵文化財発掘調査を開始

令和元年 5月 国の文化審議会が旧開智学校校舎の国宝指定を答申
 9月 10日 旧昭和興業製糸場、国の登録有形文化財に登録
 9月 30日 旧開智学校校舎、国宝に指定
 令和2年 3月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館
 (令和元年度は3月4日～24日、3月26日～31日まで臨時休館)

(2) 所在地 〒390-0873 松本市丸の内 4-1

(3) 構造・規模 鉄筋コンクリート造 (地下1階、地上2階塔屋付)
 本館延床面積 3,418.3 m² 建築面積 1,331.53 m²
 敷地面積 5,905.49 m²
 重要有形民俗文化財収蔵庫：延床面積 174.95 m²

(4) 収蔵資料 考古・歴史・民俗・美術・民芸その他の分野にわたり約11万点の資料を収蔵し、コレクションとして国指定重要有形民俗文化財のコレクションの他に「胡桃沢コレクション」、「奥村コレクション」などがあります。

◇重要文化財に指定された物件 (昭和34年12月18日指定)

孔雀文磬 1面

◇重要有形民俗文化財に指定された物件

七夕人形コレクション 45点 (昭和30年4月22日指定)

民間信仰資料コレクション 293点 (昭和34年5月6日指定)

農耕用具コレクション 79点 (昭和34年5月6日指定)

(5) 博物館活動

ア 常設展 地階の松本市域の歴史 (原始～中世)、1階の松本市域の歴史 (近世～現代)・民俗 (七夕人形など) の2部門の展示構成です。2階は特別展・企画展の会場としています。

イ 特別展・企画展

展 覧 会 名	会 期
特別展「新元号紹介コーナー」	平成31年4月1日(水) ～令和元年5月12日(日)
特別展「収蔵刀剣展」	令和元年5月14日(火) ～8月25日(日)
子規忌展「戦争と平和展～原子野の花～」	令和元年7月27日(土) ～8月25日(日)
菅江真澄没後190周年特別展「菅江真澄と民俗学」	令和元年9月7日(土) ～11月24日(日)
子規忌展「胡桃沢勘内、高浜虚子、中村憲吉」	令和元年9月7日(土) ～9月23日(日)
企画展「藤原コレクション展」	令和元年12月14日(土) ～令和2年1月26日(日)
月遅れのひな祭り展	令和2年3月1日(日) ～4月5日(日)

ウ 講演会・講座など

(ア) 講演会

演 題	講 師	月 日
第 10 回 復活話をきく会 「尋ね歩く菅江真澄一出发点としての信濃」	菊池 勇氏 (宮城学院女子 大学名誉教授)	令和元年 9 月 7 日 (土)
松本藩領ミュージアム講演会 「菅江真澄と信濃のつながり」	中原 文彦 氏 (塩尻市本洗馬歴史の里 資料館学芸員)	令和元年 11 月 2 日 (土)

(イ) 市民学芸員の会

平成 24 年度に発足した市民学芸員の会を平成 30 年度に再発足しました。会員は、松本市立博物館・松本市立考古博物館・松本市歴史の里で博物館事業に参加しました。

(ウ) 博物館実習

受入大学 6 大学 受入人数 8 人

(エ) 職員の派遣

依頼に応じて、大学・公民館・各種研究会主催学習へ職員を講師として派遣しました。

(オ) その他

No.	内 容	月 日
1	市制施行記念無料開放	令和元年 5 月 1 日 (水)
2	月遅れの七夕 ―ほうとうサービス―	8 月 7 日 (水)
3	バックヤードツアー	8 月 7 日 (水)
4	子規忌	9 月 19 日 (木)
5	第 1 回博物館まつり (松本市博物館の日)	9 月 21 日 (土)
6	小正月まゆ玉サービス	令和 2 年 1 月 14 日 (火)

(6) 松本まると博物館構想

市民の学習機会の充実と文化財のさらなる活用を推進するため、新たな博物館像を目指して、平成 12 年に松本まると博物館構想を策定しました。

この構想は、博物館が収蔵資料に限らず、市域に点在する歴史・文化遺産、自然環境も貴重な宝として捉える視点を示したものです。以後、市域全体を活動範囲として、「屋根のない博物館」をキャッチフレーズに事業を展開しています。

また、構想に基づいて友の会の設立や市民学芸員制度を導入し、博物館の枠を越えて地域で活動する人材も養成し市民協働を進めてきました。

(7) 松本市基幹博物館整備事業

平成 28 年 6 月の市議会議員協議会で、松本市大手門駐車場敷地を基幹博物館の建設予定地とし、施設規模（延床面積）を 7,000 m²～8,000 m²とすることが了承され、翌年 3 月には松本市基幹博物館施設構想及び建設計画を策定しました。

平成 29 年 7 月に公募型プロポーザル方式により建築・展示設計者を選定し設計に着手しました。

平成 30 年 2 月には、基幹博物館建設特別委員会で建設予定地の拡張が了承されました。

平成 30 年度は、実施設計を進めるとともに、建設予定地の既存施設解体や、地歴調査、周辺地域の地下水影響調査等の各種調査を実施するなど、建設に向けて具体的な取り組みを行いました。

平成 31 年 4 月から概ね 1 年をかけて建設地の埋蔵文化財調査を実施しました。また、令和元年 7

月に実施設計が完了しましたので、総合評価落札方式により施工者を選定し、議会議決を経て、令和2年3月に工事着手しました。

令和2年度は、10月の展示製作業務着手に向けて発注作業を進めるとともに、開館後の運営方針について、直営（学芸部門）・指定管理者（管理運営業務）混合による運営スキームを基に検討を進めます。

(8) 観覧者数 29年度 160,635人 30年度 170,359人 令和元年度 160,472人

なお、国宝松本城・市立博物館特別観覧券等の販売実績を基に算出した松本市立博物館の観覧券販売枚数は下記のとおりです。

29年度 681,653枚 30年度 674,105枚 令和元年度 652,485枚

(9) 観覧料 （松本城との特別観覧券）

個人 大人 700円 小中学生 300円

団体 大人 630円 小中学生 270円

（団体扱いは20人以上、100人以上は2割引、300人以上は3割引）

(10) 分館

ア 国宝旧開智学校校舎

(ア) 所在地 〒390-0876 松本市開智 2-4-12

(イ) 構造・規模 木造2階建棧瓦葺（寄棟大壁造、中央部八角塔屋附）管理事務所

延床面積 1,283.58㎡

◇国宝に指定された物件（令和元年9月30日指定）

旧開智学校校舎 1棟

◇附（ついたり）指定

建築関係文書 56冊 図面 7葉

(ウ) 収蔵資料 江戸末期から現代までの教育資料、建築資料等約11万点

(エ) 常設展 教育関係資料及び建築関係資料約150点を展示しています。

(オ) 主催展 学都松本ミュージアムめぐり2019連携展「教育からみる開智学校と山辺学校、松本高等学校」／京都市学校歴史博物館連携特別展「学校資料を伝えて、使って－教育資料のこれから」

(カ) 観覧者数 29年度 112,627人 30年度 91,158人 令和元年度 136,289人

(キ) 観覧料 個人 大人 400円 小中学生 200円

団体 大人 300円 小中学生 150円

（団体扱いは20人以上）

イ 松本民芸館

(ア) 所在地 〒390-0221 松本市里山辺 1313-1

(イ) 構造・規模 木造2階建瓦葺モルタル塗り 土蔵造2棟 収蔵庫 延床面積 432.82㎡

(ウ) 収蔵資料 人々の生活の中で生まれた民芸品約6,800点

(エ) 常設展 約1,000点を展示しています。

(オ) 主催展 工芸の五月参加企画展「刺し子と手仕事の日本一丸山太郎の民芸を旅する」／企画展「やきものの美 丸山太郎の瀬戸と伊万里」／企画展「丸山太郎の薫の一生 誇らずじみで美しく」／企画展「丸山太郎の祈りと心 その美しさをひもとく」

(カ) 観覧者数 29年度 12,205人 30年度 14,570人 令和元年度 12,236人

(キ) 観覧料 個人 大人 310円（小中学生は無料）

団体 大人 200 円（団体扱いは 20 人以上）

ウ 旧山辺学校校舎

(ア) 所在地 〒390-0221 松本市里山辺 2932-3

(イ) 構造・規模 木造 2 階建 延床面積 619.39 m²

(ウ) 収蔵資料 昔の教科書、農具、民具など約 4,000 点

(エ) 常設展 学校関係の資料や地域に関する資料約 100 点を展示しています。

(オ) 観覧者数 令和元年度 5,306 人

(カ) 観覧料 個人 大人 200 円（小中学生は無料）

団体 大人 150 円（団体扱いは 20 人以上）

エ 松本市立考古博物館

(ア) 所在地 〒390-0823 松本市中山 3738-1

(イ) 構造・規模 鉄筋コンクリート造 2 階建 延床面積 1,036.58 m²

(ウ) 収蔵資料 埋蔵文化財発掘調査によって出土した考古資料約 37,000 点

(エ) 常設展 縄文から平安時代の考古資料約 1,800 点を展示しています。

(オ) 主催展 春季企画展「わが地区の逸品～岡田地区の遺跡～」／秋季企画展「考古学から探る 奈良・平安時代の松本平」／ミニ展示「エリ穴遺跡の逸品」／速報展「発掘された松本 2019」

(カ) 観覧者数 29 年度 5,336 人 30 年度 3,963 人 令和元年度 4,115 人

(キ) 観覧料 個人 大人 200 円（小中学生は無料）

団体 大人 150 円（団体扱いは 20 人以上）

オ 松本市はかり資料館

(ア) 所在地 〒390-0811 松本市中央 3-4-21

(イ) 構造・規模 木造 2 階建瓦葺 3 棟 土蔵造 延床面積 330.80 m²

(ウ) 収蔵資料 近世から現代に至るはかりの資料約 1,300 点

(エ) 常設展 「測る」「計る」「量る」道具と、その関連資料を約 120 点展示しています。

(オ) 主催展 工芸の五月参加企画展「中町と民芸」／企画展「今昔はかり展」／「町屋で楽しむ七夕」／企画展「中町今昔物語」／「町屋で楽しむひな祭り」

(カ) 観覧者数 29 年度 18,814 人 30 年度 9,988 人 令和元年度 9,681 人

(キ) 観覧料 個人 大人 200 円（小中学生は無料）

団体 大人 150 円（団体扱いは 20 人以上）

カ 松本市旧司祭館

(ア) 所在地 〒390-0876 松本市開智 2-6-24

(イ) 構造・規模 木造 2 階建 延床面積 202.73 m²

◇県宝に指定された物件（平成 17 年 3 月 28 日指定）

松本市旧司祭館 1 棟

(ウ) 観覧料 無料

キ 旧制高等学校記念館

(ア) 所在地 〒390-0812 松本市県 3-1-1

(イ) 構造・規模 鉄筋コンクリート造 3 階建 延床面積 1,190.48 m²

(ウ) 収蔵資料 全国の旧制高等学校及び松本高等学校の資料、図書を含め約 18,000 点

(エ) 常設展 約 1,100 点を展示しています。

- (オ) 主 催 展 第 56 回あがた美術会作品展／学都松本ミュージアムめぐり 2019 連携展「松本高等学校開校 100 年記念展」／企画展「松高人名録（その二）」
- (カ) 観 覧 者 数 29 年度 11,247 人 30 年度 10,411 人 令和元年度 13,721 人
- (キ) 観 覧 料 個人 大人 310 円（小中学生は無料）
団体 大人 200 円（団体扱いは 20 人以上）

ク 窪田空穂記念館

- (ア) 所 在 地 〒390-1242 松本市和田 1715-1
- (イ) 構造・規模 木造の一部 2 階建 空穂生家 生家離れ 収蔵庫 記念館 延床面積 752.94 m²
- (ウ) 収 蔵 資 料 窪田空穂の著書、原稿など約 5,000 点
- (エ) 常 設 展 窪田空穂の作品や遺愛品、短歌に関する資料約 300 点を展示しています。
- (オ) 主 催 展 「まつもとの七夕 2019」／企画展「枯れざる生命 - 空穂と万葉集」／作品展「松本の子どもの短歌・2019」
- (カ) 観 覧 者 数 29 年度 2,725 人 30 年度 2,547 人 令和元年度 2,728 人
- (キ) 観 覧 料 個人 大人 310 円（小中学生は無料）
団体 大人 200 円（団体扱いは 20 人以上）

ケ 重要文化財馬場家住宅

- (ア) 所 在 地 〒399-0023 松本市内田 357-6
- (イ) 構造・規模 ◇延床面積 739.59 m² (526.79 m²・松本市所有分、212.80 m²・個人所有分)
◇土地面積 12,297.24 m² (5,050.47 m²・松本市所有分、7,246.77 m²・個人所有分)
◇重要文化財に指定された建造物及び土地（平成 8 年 12 月 10 日指定）
・建造物 6 棟
（松本市所有 4 棟）
主屋 310.30 m²
表門及び左右長屋 72.94 m²
中門 4.52 m²
文庫蔵 70.03 m²
（個人所有 2 棟）
隠居屋 97.20 m²
奥蔵 115.60 m²
・土地 12,297.24 m²（祝殿、土塁、竹垣、井戸を含む）
◇附（ついたり）指定
茶室・旧小屋部材 1 点・銘札 1 枚・祈祷札 2 枚
◇市重要文化財に指定された建造物（平成 6 年 3 月 31 日指定）
・建造物 1 棟（松本市所有）
灰部屋（旧うまや） 20.00 m²
◇指定外の建造物
・建造物 1 棟（松本市所有）
旧ひきや（管理事務所）49.00 m²
- (ウ) 収 蔵 資 料 生活資料・養蚕資料・農耕資料など約 170 点

- (エ) 常設展 建物の外観とともに、内部には生活用具や家具を配置して、江戸時代の生活の情景を再現しています。また坪庭（建物内から）を公開しています。
- (オ) 主催展 企画展「松本押絵雛による端午の節句」／「古民家で楽しむ七夕さま」／企画展「明治初めの旅事情～道中日記録を手がかりに～」／企画展「松本平の御柱」／「古民家で楽しむひな祭り」
- (カ) 観覧者数 29年度 5,327人 30年度 4,424人 令和元年度 4,011人
- (キ) 観覧料 個人 大人 310円（小中学生は無料）
団体 大人 200円（団体扱いは20人以上）

コ 松本市歴史の里

- (ア) 所在地 〒390-0852 松本市島立 2196-1
- (イ) 構造・規模 重要文化財 旧松本区裁判所庁舎 715.47 m²（以下延床面積）
松本市重要文化財 工女宿宝来屋 263.69 m²
登録有形文化財 旧昭和興業製糸場 175.55 m²（ボイラー建屋を除く）
木下尚江生家 124.21 m²
旧松本少年刑務所独居舎房 207.02 m²
展示・休憩棟 395.10 m²
管理・トイレ棟 223.8 m²
◇重要文化財に指定された物件
旧松本区裁判所庁舎（平成29年11月28日指定）
附 正門、松本裁判所建築日記簿及び松本裁判所建築明細簿
- (ウ) 収蔵資料 司法関係資料など約13,000点
- (エ) 常設展 生活用具や家具などにより、歴史的な建物内部の情景を再現しています。
- (オ) 主催展 生誕150周年記念企画展『木下尚江』という生き方／企画展「松本の製糸業」／パネル展「松本のたてもの2019～松本の産業遺産～」／写真展「歴史の里2019」
- (カ) 観覧者数 29年度 11,850人 30年度 11,495人 令和元年度 10,683人
- (キ) 観覧料 個人 大人 410円（小中学生は無料）
団体 大人 310円（団体扱いは20人以上）

サ 松本市時計博物館

- (ア) 所在地 〒390-0811 松本市中央 1-21-15
- (イ) 構造・規模 鉄筋コンクリート造4階建 延床面積 1,046.37 m²
- (ウ) 収蔵資料 16世紀から20世紀初頭の古時計約500点、時計関係資料約250点、その他蓄音機、SPレコード盤
- (エ) 常設展 本田コレクションを中心とした古時計を動態展示しています。
- (オ) 主催展 時の記念日企画展「わが家のお宝時計展V」／夏期特別展「明治－日本時計の近代化」／あめ市歴史展示「にぎわいのあめ市」
- (カ) 観覧者数 29年度 29,914人 30年度 27,185人 令和元年度 25,069人
- (キ) 観覧料 個人 大人 310円 小中学生 150円
団体 大人 260円 小中学生 100円
（団体扱いは20人以上）

シ 松本市山と自然博物館

- (ア) 所在地 〒390-0861 松本市蟻ヶ崎 2455-1
- (イ) 構造・規模 鉄筋コンクリート 2 階建塔屋 5 階地下 1 階
延床面積 2,175.41 m² (市 993.01 m²、国 743.81 m²、供用 438.59 m²)
- (ウ) 収蔵資料 自然及び登山関係資料約 30,000 点
- (エ) 常設展 身近な自然資料、登山関係資料約 850 点を展示しています。
- (オ) 主催展 企画展「身近な昆虫、トンボ」
- (カ) 観覧者数 29 年度 29,864 人 30 年度 28,037 人 令和元年度 28,285 人
※上記の観覧者数は、展望台及び 2 階無料展示エリアの観覧者数を含みます。
- (キ) 観覧料 個人 大人 310 円 (小中学生は無料)
団体 大人 200 円 (団体扱いは 20 人以上)

ス 松本市高橋家住宅

- (ア) 所在地 〒390-0876 松本市開智 2-9-10
- (イ) 構造・規模 木造平屋
延床面積 118.56 m²
- (ウ) 観覧者数 29 年度 3,191 人 30 年度 3,207 人 令和元年度 2,670 人
- (エ) 観覧料 無料

セ 松本市四賀化石館

- (ア) 所在地 〒399-7416 松本市七嵐 85-1
- (イ) 構造・規模 鉄筋コンクリート造 2 階建 延床面積 759.57 m²
- (ウ) 収蔵資料 ◇県天然記念物に指定された物件／反町のマッコウクジラ全身骨格化石 (シガマッコウクジラ) 平成 17 年 3 月 28 日指定、シナノトド化石 (アロデスミス)
昭和 60 年 11 月 21 日指定
◇松本市特別天然記念物に指定された物件／大型鰐脚類の陰茎骨化石、アロデスミス頭骨の化石 平成 28 年 3 月 23 日指定／他、約 1,000 点
- (エ) 常設展 1 階はシガマッコウクジラ・シナノトドの化石ほか四賀地区中心に新生代の化石と地層を展示。2 階は、古生代・中生代の化石と鉱物標本、希少動物の剥製を展示しています。
- (オ) 観覧者数 29 年度 7,636 人 30 年度 9,161 人 令和元年度 7,942 人
- (カ) 観覧料 個人 大人 310 円 小中学生 150 円
団体 大人 200 円 小中学生 100 円
(団体扱いは 20 人以上)

ソ 松本市安曇資料館

- (ア) 所在地 〒390-1520 松本市安曇 3480-2
- (イ) 構造・規模 鉄骨造 2 階建 (地上 2 階、地下 1 階) 延床面積 591.48 m²
- (ウ) 常設展 安曇地区に関係の深い歴史、民俗資料を中心に展示しています。
- (エ) 観覧者数 29 年度 1,012 人 30 年度 848 人 令和元年度 988 人
- (オ) 観覧料 無料

市章の由来

(昭和 13 年 1 月 6 日制定)

外側の円は陽春の若松をあらわし、市の将来の円満な発展を象徴しています。円の中心は「本」の字によって六合をあらわし、宇宙に本市の光輝発揚を願い、形は雪の結晶をあらわしています。また突起の部分は北アルプスの山岳を意味し、六角は松本藩 6 万石の歴史的意味、あるいは旧藩主戸田氏の六星紋所の意味もふくまれています。

市政概要

松本市議会

令和 2 年 9 月 発行

発行・編集 松本市議会事務局

松本市丸の内 3 番 7 号

TEL 0263-34-3210

e-mail : gikai@city.matsumoto.lg.jp
